

山行報告書

京都田辺山友会

報告者 小川 弘二

山名	金勝（こんぜ）アルプス	山行名	11月例会
ルート	上桐生バス停→落ヶ滝→分岐→鶏冠山→分岐→天狗岩→耳岩→白石峰→竜王山→白石峰→磨崖仏→出合→逆さ観音→オランダえん堤→上桐生バス停		
山行日	2014年11月15日（土）	天候	晴
参加者	リーダー：小川 サブリーダー：坪田 男性：三宅、金本、佐坂、西川、広瀬、梅澤、坂部、藤村 女性：長野、上杉、秋山、伊藤 合計：14名		

ルート概略図		コースタイム				
		地名	時：分	地名	時：分	
上桐生バス停	落ヶ滝	着	09:00	竜王山	着	13:13
		発	09:10		発	13:20
オランダえん	分岐	着	09:40	磨崖仏	着	13:55
		発	09:45		発	14:00
逆さ観	天狗岩	着	10:48	出合	着	14:14
		発	10:52		発	
出合	白石峰	着	11:54	逆さ観音	着	14:50
		発	12:31		発	14:55
磨崖仏	竜王山	着	12:56	上桐生バス停	着	15:10
		発			発	

山行報告

今回は参加者数 14 名となり公共機関を利用しての山行となった。集合場所の京都駅のホームには先着された方々が集まっていたが 2 名の方の顔が見当たらない。電話をしたが繋がらず発車時刻がきたのでやむを得ず電車に乗った。M さんからは最後尾（私の案内が悪かったため）に乗っているとの連絡を受け一安心。草津駅に着き再度 N さんに電話をするとどうかしたの？とのことで 1 名減にて山行開始。

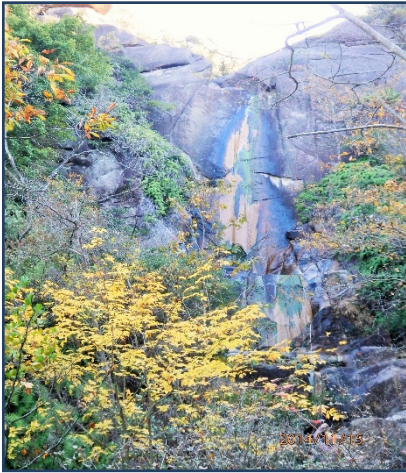
天気も良く順調に最初の休憩ポイントの落ヶ滝に到着。天気が続き、水が少なかったが落差もあり、水量が多ければ見事な滝だと思う。

その後、鶏冠山への分岐点に向かい、一つ目のロープをよじ登り、左に行かねばならないところを 2 つ目のロープを登ったことにより、道間違いが発生し、直ぐに気づき引き返すことになった。後続の別のグループも私たちに続き登ってきており、誠に申し訳なく反省。

何とか分岐点に辿り着き、左に折れ鶏冠山に向かうがこれも中々の急登。下見時に地元のボランティアのおじいさんから聞いた話だが峰が 3 つあり、鶏のトサカに似ているので鶏冠山と名付けられたとのことだが、同行の I 女子からどこが鶏冠なのと聞かれ返事に窮す。

続いて昼食予定地の天狗岩に向かい右手に尾根筋を琵琶湖や比叡の山並みを見ながら進み予定通り 12 時前に天狗岩に到着。各人其々（岩の上とか）昼食を取った後、希望者のみにて天狗岩に挑戦。少し風が





キック、記念写真を撮り早々に下岩。しかし岩の上からの景色は又一段と良いものだ！

次のポイントに向かい、耳岩や奇岩・巨岩の間を通り、白石峰の分岐点に到着。ここから竜王山まで往復 40 分弱のピストンを行い、下山に向かう。途中、狛坂磨崖仏（高さ 6m 幅 4m の花崗岩の壁面に阿弥陀如来座像を中心に計 12 体の仏像の半埋）で休憩。この近くに狛坂寺の廃跡があり、平安～鎌倉時代にかけて渡来の人々（新羅の金勝族）が多く住み付き作られたと言われている。奈良東大寺の大仏の建立にも銅の採掘・細工で金勝族が活躍した。

その後、逆さ観音・オランダえん堤等を経て、予定通り 3 時過ぎに下山。

紅葉はまだ色付き初めの段階であったが、面白いコースだと思う。

ヒヤリハット 1 件（道間違い）



事故やヒヤリ・ハットの掲載は、私達京都田辺山友会のメンバーが常に安全登山に心がけ、事故を起こさない為に参考事例として公表しております。お互いに十分気をつけましょう。

## 報告書（事故／ヒヤリ・ハット）

提出先・山行部長殿（ヒヤリハットの場合）

2014年11月15日

・役員会殿（事故の場合）

報告者（CL又は当人）：\_\_\_\_\_

日 時	2014年11月14日（土）	10時 10分頃
山 行 名	金勝アルプス	
CLと人数	CL：小川 人数：14名	
天 候	晴れ	発生場所；落ヶ滝から北嶺縦走路の分岐への登り
事象の分類	滑落、転落・転倒、スリップ、 <u>道間違い</u> 、動・植物、落石（落氷）、病気、体調不良、装備の不携帯、その他_____。 複数〇もあり	
内 容 （状況） （症状） （応急措置） （救助） （他）	登り用のロープが2段に張られており、本来であれば2段目のロープを登らず左に行くべきところ、2段目のロープを登ってしまい、3分後位に道間違いに気が付き引返した。	
受 傷	有／ <input checked="" type="radio"/> （“有”の場合その症状及び傷病名） 骨折、捻挫、打撲、外傷、凍傷、	

